令和７年度 地域スポーツクラブ活動アドバイザープロフィール

ふりがな	しぶや　けんいち	
氏　名	**澁谷 健一**	
所属・役職	公益財団法人 新潟県スポーツ協会スポーツ推進課長	
略歴	昭和６２年　　新潟県立新潟商業高等学校　卒業 昭和６２年　　財団法人新潟県体育協会　採用 平成２７年　　公益財団法人新潟県体育協会スポーツ推進課長 ※平成 30 年４月に「公益財団法人新潟県スポーツ協会」に名称変更 （新潟県スポーツ少年団事務局長） （新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局長） （新潟県スポーツ施設協会事務局長） 令和７年　　現在に至る	
部活動改革・地域スポーツクラブ活動等に関する実績等	● 新潟県広域スポーツセンター担当者（平成 22 年度～現在） ● 日本スポーツ少年団広報普及部会員（平成 25 年度～令和３年度） ● 岩手大学地域連携推進事業事例発表（平成 29 年３月） ● 第 21 回スポーツ少年団全国指導者研究大会分科会事例発表（平成 28 年６月） ● （公財）日本体育協会総合型クラブ登録制度検討プロジェクトメンバー（平成 28 年度～平成 29 年度） ● （公財）日本体育協会総合型地域スポーツクラブの登録・認証等の制度整備に関する調査研究プロジェクト委員（平成 29 年度） ● 秋田県スポーツ科学センター（広域スポーツセンター）平成 30 年度総合型クラブ活動推進セミナー事例発表（平成 30 年６月） ● 日本スポーツ少年団 スポーツ少年団緊急対策プロジェクト委員（令和３年４月～令和５年６月） ● 日本スポーツ少年団 アクションプラン実行ワーキンググループ班員（令和５年８月～現在）	

	● 新潟県 新・県民スポーツ振興プラン策定委員（平成 27 年度） ● 新潟県教育委員会 学校部活動の在り方検討委員会委員（平成 28 年度～平成 30 年度） ● 日本スポーツ協会北信越ブロッククラブネットワークアクション 2019 福井事例発表（令和元年度） ● 新潟県教育委員会 複数合同部活動検討会議委員（令和元年度） ● 新潟県教育委員会 新潟県部活動改革検討委員会委員（令和２年度～令和６年度） ● 新潟県教育委員会 新潟県地域スポーツ・文化芸術活動と部活動改革に関する検討委員会委員（令和７年度～現在） ● 自由民主党スポーツ立国調査会地域スポーツＰＴヒアリング発表（令和６年４月） ● スポーツ庁 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業における調査・分析チーム協力者（令和６年７月～現在） ● 愛媛県（保健体育課・地域スポーツ課）視察対応（令和６年７月） ● 北海道スポーツ協会地域スポーツ推進団体連絡会議ワーキンググループ視察対応（令和６年８月） ● 広島県府中市部活動改革推進協議会で講演（令和６年８月） ● スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」における「重点地域における政策課題への対応」に係る推進会議（新潟県教育委員会）委員（令和６年９月～現在） ● （公財）群馬県スポーツ協会・群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会フォローアップセミナーで講演（令和７年１月） ● NIIGATA 部活動地域移行（地域展開）シンポジウム講師（令和７年１月） ● 新潟市中学校体育連盟部活動・中学校スポーツ指導者研修会で講演（令和７年２月） ● 愛媛県議会スポーツ振興議員連盟 学校部活動改革研修会／市町スポーツ協会連絡協議会・競技団体連絡協議会・県スポーツ指導者連絡会議合同会議（特別講演）／学校部活動改革セミナー（愛媛県スポーツ指導者研修会）で講演（令和７年６月） ● 福岡県京築地区部活動改革研修会講師（令和７年７月）

	● 群馬県地域創生部スポーツ振興課・（公財）群馬県スポーツ協会視察ヒアリング対応（令和７年７月） ● （公財）日本スポーツ協会地域スポーツ推進中央協議会委員（令和７年７月～現在） ● 群馬県「令和７年度運動部活動地域展開推進シンポジウム」シンポジスト・パネリスト（令和７年８月）

自治体向け メッセージ	新潟県スポーツ協会では、「部活動改革」は、中学生世代の新たなスポーツ環境づくりと地域におけるスポーツ推進体制を再構築する機会ととらえ、その推進にあたっては「運営団体」が重要な役割を担うと考えています。また、課題は多々あるものの、市町村スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブや競技団体等にとって、組織の質的向上を図り、存在意義を高めることができるチャンスだと考えています。 そのような考え方に基づき、県教育委員会、中体連、大学等と連携を図りながら、子ども達のスポーツ環境の最適化とスポーツ団体発展の両立を目指した各種事業を実施し、市町村行政とスポーツ団体の連携による地域スポーツ推進のための環境づくりを支援しています。 この機会に、全国各地の皆様と成果・課題を共有し、よりよい環境づくりについて一緒になって考えていきたいと思っています。